



水土里情報を活用した水門管理マップについて紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット富山、県内土地改良区

取組概要

内容: 地域(生産組合、自治会)で管理している支線用水路の水門施設について、水土里情報のデジタルオルソを基図に、水門位置をGIS上にプロットし、施設の諸元、管理者等の属性情報を整備。また、GISデータを現地を確認できるよう、鋼製水門に現地ラベルを設置。

経緯: ①人員不足等により、点在する土地改良施設の状況把握や、大雨時における水門等の操作管理で苦労している土地改良区から相談を受ける。

②大雨時における水門管理の円滑化や連絡体制の強化など、効率的な管理を目的として、水土里ネット富山が中心となりGISによる管理手法を開発。

■対象施設

鋼製水門



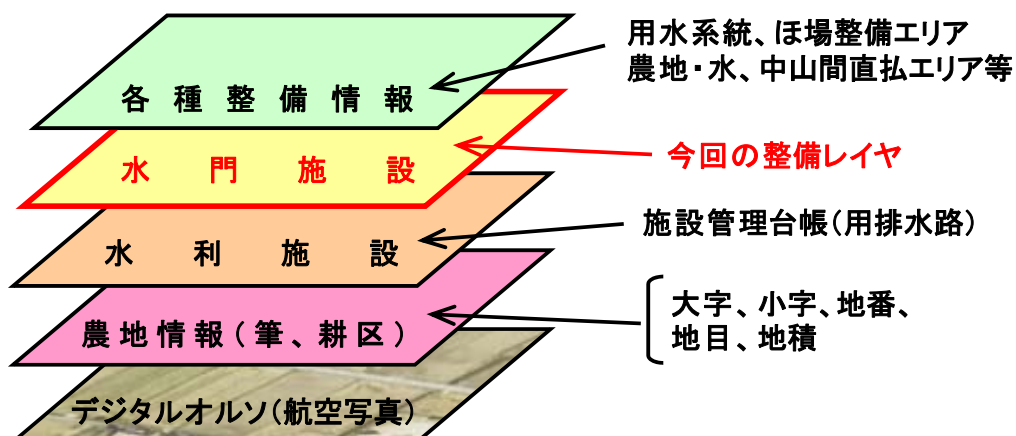
簡易水門



せき板

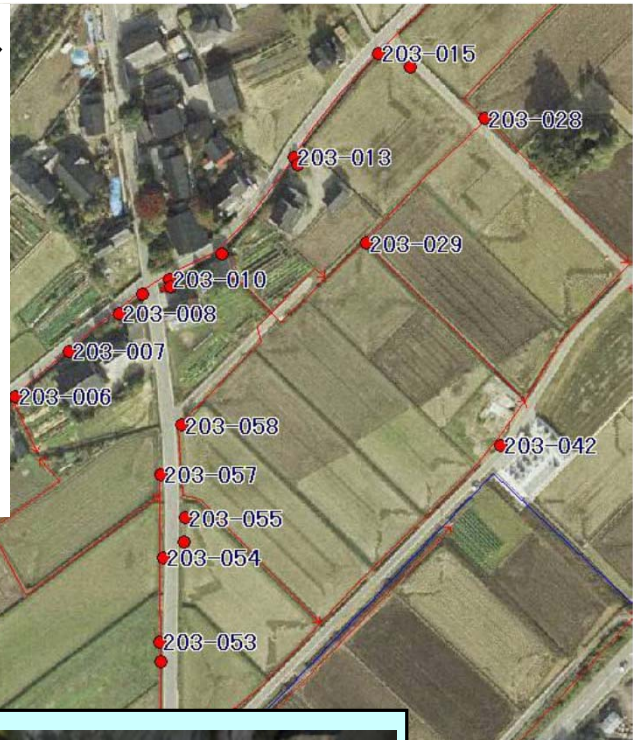


■GISデータ情報の主なレイヤ構成



水土里情報を活用し、水門の位置情報や、地域組織の聞き取りから得た水門名称、管理者、構造、整備事業名及び年度等の情報を属性情報として格納。

また、水門の鋼製アングル等に、アクリル板の「水門現地ラベル」を設置することで、現地での施設情報確認を可能にし、緊急時の通報などに円滑に対応できるようにした。



現地ラベル



期待される効果

- ①大雨時の送水停止、流水方向制御などの水門管理の円滑化、連絡体制の効率化が可能。
- ②水門施設の状態監視、計画的な塗装、補修などの対策、ストックマネジメントのとしての効果も期待される。

今後の活用予定

本取り組みを他地域へ波及させ、土地改良区と地域との連携した施設管理体制の構築を推進するとともに、水土里情報の有効な活用を展開する。

■お問い合わせ先

富山県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター

076-424-3380

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、柳川)

03-6744-2201(直通)